

かぐ山の御詠歌

松 濤 基 作 曲
鈴 木 錦 承 振 付

唱え奉る	静かに合掌	
かぐ山の		
御詠歌	左足をくずして静かに立ち	
に	両手を下ろしながら左足を右足に揃える	
歌	手	足
ご	両手両側よりフンワリと掬う	右足を一步右方に出し
く 	が如く右斜上方に捧げる	体重をうつす
ら	両手首を内側に廻しつつ	左足を一步右足の右方に出し
く 	斜左下方に伸ばす(指先上方掌下)	両膝を軽く曲げる
え		
	上記同要領を	「ごくらく」と同要領を
	四呼間に行う	四呼間に行う
つ 		
と	右手内側よりフンワリ上挙	右足右斜後方にフンワリと踏み出し
	フンワリ右腿を叩く	右肩を下げ両膝軽く屈膝する
め	同要領にて左手で左腿を叩く	左足同要領にて右足の
て		右方に出す
は 	同要領右手で	右足同要領にて
や 	右腿を叩く	右方に出す
く	同要領左手で	左足同要領斜前方に出す
い 	左腿を叩く	
で	両手斜両側下方に	左方へ軽くスリ足で
	伸す	走り
た	柔らかに左上方(前方)に	左足一步左方に(前方)に
	捧げる	出し体重をうつす
た	柔らかにそれぞれ一回下で廻して	右足を更に左足の前方に
	上方に捧げる	出す
ば	左手内右手外側にしてふっくら包む如く胸	少し曲げる
	前叉手、頭を右に傾けて左上を見る	

歌	手	足
(半拍休)		
み	左手左方前方より左股を軽く押える	左足ツマ先を左方に軽くつく
の	右手斜後方に伸す	
を		
は	右手右肩前より右股を軽く押える	右足ツマ先を左足前方に
り	左手斜後方に押す	軽くつく(図参照)
ー		
に	左手同要領	左足ツマ先を左方に軽くつく
ー		
は	右手同要領	右足ツマ先を左足左方に
ま		軽くつく(図参照)
ー		
い	両手斜後方に伸す	斜前方(最初の位置)に
ー		スリ足で進み(図参照)
り	右手右上方に捧げる	右足を一步前方に出し
ー	左手は右肘下に掌を下にして与える	体重をうつす
ー		
つ	右拳を左手掌で覆い包む如くし	左足を右足に揃えて
ー	両肘を前に出し 手は顎の下に置く	両膝をつき立膝となる
き	目は上方を見る	
ー		
な	右掌の上に左掌を少しずらして	静かに正座する
ー	重ね、右頬の下にあてる	
ん	頭を右に傾ける	
(休)		
合掌して終わる		

ポイント注意

【ごく-らく-え-】伸ばした指先。指先を立ててください。

【つ-と-めて】 手と足の動き。踵をつけないように足をふんわりと踏み出します。

手も足と同じ様に動かし、ふんわりと足をたたきます。

【つ-き-な-ん】(正面を向く時の)手の位置。手を正面の位置について、そのまま向きます。